

## ◆ 博物館だより

### ◇2022年度イケフェスに参加

大阪市の「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」の一環で、10月27日に千里山キャンパス内の村野建築をめぐるキャンパスツアーを開催して31名にご参加いただきました。環境都市工学部建築学科の橋寺知子准教授に講師をお願いしました。

### ◇「博物館実習展」及び「屏風を知る」展の開催



ここ数年、コロナ禍の影響で規模を縮小していた博物館実習展を従来通りの方法で開催しました。今年度は11月13日から18日までの間、44人の実習生が「節約令～庶民のくらしを読み解く～」、「大坂の両替商と大名-預申銀子之事」、「お金のデザイン展」、「結びの文化展」、「桜花爛漫 菊日和」の5班に分かれ、博物館学課程の集大成として展示を構成しました。また、特別展示として「屏風を知る」展を同時開催し、会期中には421名にご覧いただきました。



### ◇関西大学博物館冬季企画展「津田秀夫文庫を調査する」を開催

関西大学博物館が所蔵する津田秀夫文庫は本学元教授の津田秀夫（1918～1992）が収集した古文書・和本など約4000点のコレクションで、2022年3月に『津田秀夫文庫古文書・和本目録』を刊行しました。本展示会では、室町時代から江戸時代にかけての古文書や絵図、史料整理や目録化作業で得られた成果などを紹介しました。2022年12月5日から2023年1月21日までの会期中に、405名に来場いただきました。



### ◇2023年2月13日から25日まで「関西大学と村野藤吾～設計図・写真・絵画～」と、ミニテーマ展「お経と印刷」を同時開催し、来館者は310名でした。

◇このたび、故本山幸彦元本学文学部教授・京都大学名誉教授の御令室 本山昭子氏から、大阪毎日新聞社第五代社長本山彦一（1853～1932）関係資料20点をご寄贈いただきました。概要を本号にて紹介しております。元奈良県知事柿本善也氏からは、本学校友の河内國平刀匠が平成5年に制作した短刀一振をご寄贈いただきました。学校法人関西大学顧問・関西大学校友会名誉顧問（第十代会長）の寺内俊太郎氏からは、國平刀匠の鍛えた刀に刀身彫刻の第一人者である柏木重光氏が夫婦龍を刻した脇差一振をご寄贈いただきました。さらに、校友の中野聡氏から、ご祖父様の茂理親平氏が蒐集した貨幣資料1256点をご寄贈いただきました。今後、博物館で充分活用していきたいと考えています。

## ．．． 編集後記 ．．．

表紙の「兎図」（竹内栖鳳筆 一幅 紙本墨画 39×51.5cm）は、書家山本竟山の旧蔵品です。少ない筆の画数で小さく丸い兎のラインが的確に表されており、対象をつぶさに観察し、実物の写生を重視して描かれています。「写生と省筆」を提唱する竹内栖鳳の絵画観がよく感じられる作品です。

博物館の運営にご尽力くださった羽間平安元理事長が2022年9月27日に享年94歳で永眠されました。心からご冥福をお祈りいたします。

